

平成25年度 坂東市行政改革懇談会

1. 日 時 平成25年8月1日(木) 午後1時30分～午後3時30分

2. 場 所 坂東市役所 岩井南会議室

3. 出席者

(1) 中村静雄会長、五島弘子副会長

委 員 青木亨委員、飯田郁子委員、石塚幸一郎委員、内田茂行委員、風見幸男委員
坂野俊光委員、間中和雄委員、保原幸弘委員、横張弘志委員

欠 席 中村佳子委員

(2) 坂東市長 吉原 英一(途中退席)

(3) 事務局 企画部長、企画課長、企画調整係3名

4. 役員選出

会長：中村 静雄委員、副会長：五島 弘子委員

【説明】 坂東市行政改革取組状況(素案)について企画課長説明

5. 行政改革懇談会での意見等について

区 分	意見の概要	回 答
検診受診率の向上について	検診会場に行くと受診者が多いように感じるが、実際は受診率が33%と低い。どのあたりの年齢層で受診率が低いのか？	65～69歳が42.7%と最も高く、45～49歳が20.3%、40～44歳が22.4%と低くなっている。若い世代で受診率が低い傾向がある。
	検診の場合、予約日や受診日が決まっているため、子育て、介護をしていたりすると調整が難しい。病院との調整など難しいのは分かるが、いつ行っても受診できる体制があればよいのでは。	病院等との調整もあり、すぐに実施は難しいが、ご意見については担当課に伝えて検討させていただきたい。
	検診時に託児ができるなど、素晴らしいサービスがあるが、周知されていないところがあるのでは。もっとPRしては。	広報紙でお知らせするなど、周知は行っているが、中々浸透していない状況である。
自治組織への加入の促進	自治組織は、お互いに協力し合えるもので、大変素晴らしいものだと思う。加入率が低下しているが、アパートの単身世帯等に自治組織に加入してもらおうよう、勤務先の企業にもPRしていくことも必要では。	企業に対するPRについても検討していく。
収納率の向上	税、保育料、水道料金など様々な料金があるが、それぞれで滞納している人は同じなのか？本当にお金がなくて滞納しているのか、あっても払わないのかの見極めが難しい。	重複して滞納している方もいると思う。分割して納付する分納制度もあるが、額が嵩んでしまうと納付が難しい。
	納税貯蓄組合があった時と今の収納率の比較は？	組合があった時の方が、収納率は良かった。保育料等は児童手当の支給時に納税相談を行う等、収納率の向上に努めている。
	給食の献立に、給食料を納めましょうなどのコメントを入れ、親の理解を求められるようにしてはどうか。子どもの税教育にもつながると思う。	ご意見については担当課に伝えて検討させていただきたい。
	納めてなっ得カードと市民カードが2枚あって分かりづらい。統一できないのか	納めてなっ得事業に期限があることとシステム的な問題から難しい。
研修について	これだけの目標を立てて行政改革を推進していると思うが、職員の意識が変わらないといけない。研修効果など数字が出ないものでも、効果が分かるようにして、意識改革、研修を進めて欲しい。	目に見えて分かる形にしていく。研修は今後も継続して推進する。

職員提案制度の推進	提案が2件しかないのはさみしい。住民との対話がないと提案は生まれなため、日常業務中でも若手職員が住民の声を聞く機会があるとよいのでは。	提案制度は期間を区切って、庁内で募集しているものであるが、これ以外にも通常業務の中で改善している部分はある。制度のやり方についても検討する。
窓口サービスの向上	義母がなくなった時、年金の手続きの際に、夫でないと手続き出来ないといわれてショックだった。制度上の問題もあると思うが、必要書類や手続きなどの一覧があると分かりやすい。	職員の対応については、十分に注意する。 申請等の事務については、新庁舎で日本一の総合窓口を検討している。書類の簡素化等をよく検討する。
地域の活性化について	<p>納めてなっ得カードを地域の活性化につながるようにしては。高齢化が進む中、65～70歳までの方に、ボランティアに積極的に参加してもらい、ポイントを付加し、自分が高齢者になった時に還元されるようなカードがあるとよいのでは。シルバーパワーをいかに地域に循環させるかが重要だと思う。</p> <p>足立区でも介護の手伝いをするとポイントが付くカードがある。</p>	<p>高齢者の方が「いきいき大学」に加入すると、地域での買い物等で優遇されるカードの発行を予定している。</p> <p>高齢者の力を、地域で発揮してもらうような仕組みづくりが今後重要になってくる。</p>